



エネルギー消費量計算結果評価レポート
省エネ適判／モデル建物法

2025.00

納品成果物一覧

01_ エネルギー計算に関する成果資料

01-1 モデル建物法エネルギー計算入力データ (Excel) ※

01-2 エネルギー消費量計算結果 (pdf) ※

01-3 計算根拠資料 (pdf)

02_算定結果に対する評価レポート (本資料)

02-1 エネルギー消費量計算結果の評価分析



02-2 目標達成のための改善案

02-3 原設計と目標達成案との比較

02-1 エネルギー消費量計算結果の評価分析

一次エネルギー消費量算定結果

1. 計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称					
(2) 床面積		1,244.91	XML ID/再出力コード		
(3) 省エネ地域区分/年間日射地域区分		5地域 / A4区分	c0b3aa21-1ffa-4628		
(4) モデル建物		事務所モデル	DWTI-BRRT-KJRJ-VQVC		
(5) 評価結果					
年間熱負荷係数		【BPI _m 】	0.88		
一次エネルギー消費量		【BEI _m 】	0.72		
空気調和設備		【BEI _m /AC】	0.90		
機械換気設備		【BEI _m /V】	0.82		
照明設備		【BEI _m /L】	0.55		
給湯設備		【BEI _m /HW】	0.67		
昇降機		【BEI _m /EV】	1.00		
太陽光発電			あり		
コージェネレーション設備			なし		
(6) 判定	BPI _m ≤ 1.00		達成	BEI _m ≤ 1.00	達成

BPI _m	空調BEI _m	換気BEI _m	照明BEI _m	給湯BEI _m	昇降機 BEI _m	BEI _m
0.88	0.90	0.82	0.55	0.67	1.00	0.72

分析コメント



02-2 目標達成のための改善案

改善手法	設定仕様
Case 1 : 断熱仕様の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内側から吹付硬質ウレタンフォームを50mm ・開口部仕様の向上
Case2 : 空調設備の高効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内側から吹付硬質ウレタンフォームを50mm施工 ・屋根面も外壁から1m程度まで折り返し断熱施工（断熱補強） ・3F南側の屋根については屋根裏を全面断熱、吹付硬質ウレタンフォームを100mm施工
Case 3 : 熱交換型換気設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・3F倉庫(3)(4)の空調をCase1・2の断熱強化の効果を踏まえて、機器能力・設置台数を見直して更新 ・空調の無い倉庫に対してビル用マルチエアコンを新設 ・5F執務室等の既存エアコンを断熱仕様に見合った高効率な機器に更新 ・事務所Gにパッケージエアコンを新設
Case 4 : 給湯設備の高効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根全面に設置可能な範囲で太陽光発電設備を設置 ・仮定設置容量を記載する

02-2 目標達成のための改善案

一次エネルギー消費量算定結果

1. 計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称		<div></div>		
(2) 床面積	1,244.91	XML ID/再出力コード		
(3) 省エネ地域区分/年間日射地域区分	5地域 / A4区分	c0b3aa21-1ffa-4628		
(4) モデル建物	事務所モデル	DWTI-BRRT-KJRJ-VQVC		
(5) 評価結果				
年間熱負荷係数	【BPI _m 】	0.88		
一次エネルギー消費量	【BEI _m 】	0.42		
空気調和設備	【BEI _m /AC】	0.82		
機械換気設備	【BEI _m /V】	0.29		
照明設備	【BEI _m /L】	0.55		
給湯設備	【BEI _m /HW】	0.67		
昇降機	【BEI _m /EV】	1.00		
太陽光発電		あり		
コージェネレーション設備		なし		
(6) 判定	BPI _m ≤ 1.00	達成	BEI _m ≤ 1.00	達成

BPI _m	空調BEI _m	換気BEI _m	照明BEI _m	給湯BEI _m	昇降機 BEI _m	BEI _m
0.88	0.82	0.29	0.55	0.67	1.00	0.42

分析コメント